

学生目線での研究室Q&A

研究室学生による学生目線でのQ&Aです。

1. 教員について

Q)先生は、講義中とは印象が異なりますか？

A)2年生の基礎的な授業の時とは異なり、高速空気力学など専門の科目やゼミは、大変、話題が豊富で、2年生の授業とは全く印象が違います。最新の研究内容にとどまらず、人生観や社会情勢の捉え方など、授業を受けていて飽きることがありません。

Q)先生は、厳しいイメージがありますが、本当ですか？

A1)厳しいイメージがありますが、それぞれの努力は認めてくれます。

A2)研究に関しては、うやむやにすることはないので、厳しいですが、他のことについては、おおらかな部分があります。努力を認めてくれる先生です。

A3)研究室の実験では潜在的に危険を伴うものが多いため、安全管理の面では時に厳しい指導が入ります。

A4)調査したことについて指摘をいただきますが、怒られることはありません。

2. 研究室の雰囲気・活動について

Q)先輩方が水書研究室を選ばれた理由を教えてください。

A)研究室行事の豊富さに魅力を感じました

Q)研究テーマはどの様に決めましたか？

A)先生がそれぞれの希望を最大限考慮した上で、本人の興味がある分野に可能な限り近い研究テーマに決めます。

Q)研究室に入って得したことはありますか？

A1)工学的センスが身に付きます。

A2)研究とは、どのような事なのか、よく分かります。

A3)外部機関との関わりがとても多いです。

A4)社会人としての常識を多く学べます。

Q) 難しい課題が出されると聞いていますが、本当ですか？

A) 慣れないうちは大変に感じますが、初めて学ぶ分野の予習と変わりません。

Q) 研究室での拘束時間が長いときいていますが、本当ですか？

A1) 徹夜での作業はありません。安全最優先です。

A2) 半分本当です。しかし拘束されることはなく、先生や先輩方との議論や自習の結果遅くなることはあります。

A3) 強制されて遅くまで拘束されることはありません。本人の意思で残ることも帰ることもできます。

Q) 研究とアルバイトは両立出来ますか？

A) 基本的には両立出来ます。時期によっては忙しくなるので、バイト先と相談しましょう。

Q) 研究室内の雰囲気はどうでしょうか？

A1) 研究室内で勉強会があり、先輩との関わりも多いです。

A2) 先輩や同期とのコミュニケーションが活発で、和気あいあいとしています。

Q) どのような学生に来てほしいですか？

A1) 研究テーマに興味があり、自分の可能性を高めたいと考えている学生を歓迎します。

A2) 研究開発や設計など、新しいものを将来自分で作りたいと考えている学生には、良い経験が得られると思います。

Q) 研究室に配属して一番大変なことは何ですか？

A) 先生と議論することです。どのような質問をされるか予想して予習することや、質問に対しての自分なりの解答を考えることが特に大変です。

Q) 実際に配属されて後悔はしていますか？

A) していません。もちろん大変なことだらけですが、自身の成長に気づくはずです。

Q) 長期休み中の研究室生活はどのようになりますか？

A) 卒研究生や院生は、自分の研究を継続的に進めます。3年生は、定期的に関われる全体会議に出ますが、基本的に大学には出てくることはないです。

以上